

運動会の表現に実行委員会がフラッシュモブを ～「児童自身のもの」になっているか～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

運動会の目的が問われ始めたコロナ禍の2年目。私なりにもう一度運動会というものを確認してみました。歴史と法的拘束力のある学習指導要領を調べてみると以下のようなことがわかりました。

<今からおよそ150年前>

- ・運動会の起源は海軍の幹部を育てる海軍兵学寮で、イギリスのアスレチックスポーツを「技闘遊戯」と訳したのが起源
- ・その後、初代文部大臣の森有礼が兵式体操と一緒に全国に普及した

それから150年の月日が流れ

学習指導要領解説 特別活動編に運動会は以下のように記載されている

(3) 健康安全・体育的行事

②実施上の留意点

ウ 運動会などについては、実施に至るまでの指導の過程を大切にするとともに、**体育科の学習内容と関連を図る**などの時間の配当も留意することが大切である。また、活発な身体運動を伴う行事の実施にあたっては、児童の健康や安全には特に留意し、日常の学校や家庭における健康管理、教師間の協力体制を万全にし、事故防止に努める必要がある。

エ 運動会においては、学校の特色や伝統を生かすことも大切である。ただし、児童以外の参加種目を設ける場合は、運動会の教育的意義を損なわない範囲にとどめるよう配慮する。また、児童会活動やクラブ活動などの組織を生かした運営を考慮し、**児童自身のものとして実施する**ことが大切である。その場合、児童に過度の負担を与えたり、課題な責任を負わせたりすることのないよう配慮する。

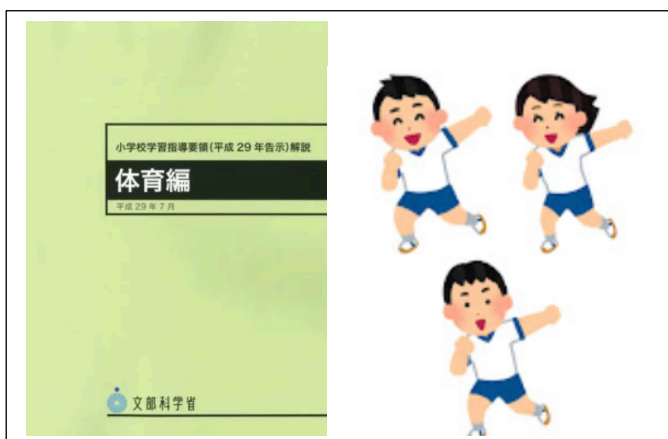
オ 各種の競技会などの実施に当たっては、いたずらに勝負にこだわることなく、また、一部の児童の活動にならないように配慮することが必要である。

つまり運動会は

①**体育の学習内容と関連を図れているか**

②**児童自身のものになっているか**

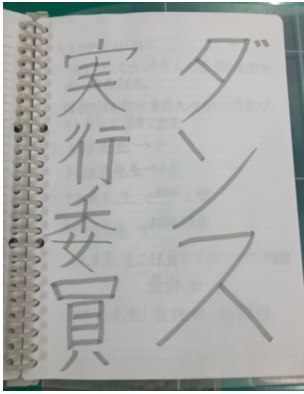
を検証する必要がある



そこで今年は・・・

「運動会のダンス実行委員会をしたい人？」と募集する

「はい」「はい」「はい」と6名が立候補



5年生の体育授業に6年生の実行委員がお願いに行き

実行委員のメンバーは「観る人を驚かせる（サプライズ）」

運動会初のフラッシュモブに挑戦！

＜サプライズ その1＞
退場せず、静止する先生に構わず踊り出す。

＜サプライズ その2＞
次から次に5、6年生も踊り出す。

＜サプライズ その3＞
嫌がる担任の先生を踊りに誘う。
嫌がっていた担任の先生がノリノリに踊る。



1学期に履修したダンスに加え



練習も自分たちで計画を立て、納得いくものにして

＜そして運動会本番＞

実行委員に合格をもらって踊る担任の先生



私の制止を振り切って踊り出す2人の6年生



嫌がっていた担任の先生も途中からノリノリに

実行委員を中心に子どもたちで考えた演出（演技）

今までとは違う「なりきって驚かせる」表現への挑戦でした

子どもたちと共創する高瀬小の運動会はとても楽しいです